



元気とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年02月17日 第1206号「週刊五十嵐レポート」

## ニッチとは

農学博士・稲垣栄洋著「弱者の戦略」の中に「本当のニッチ戦略」がある。ビジネスの世界に「ニッチ戦略」という言葉がある。もともとは生物学で使われたものがマーケティング用語として広まった。「ニッチ」は装飾品を飾るために寺院などの壁画に設けた「くぼみ」を意味する。一つのくぼみに、一つの装飾品しか掛けることができないように、一つのニッチには一つの生物種しか住むことができない。

ニッチとは単にすきまを意味する言葉ではない。すべての生物が自分だけのニッチを持っている。世の中のすべての生物がナンバーワンになれるニッチを探し求め、他の生物とニッチが重ならないようにニッチをずらしていく。

2月14日付日経新聞、「超音波 ニッチ分野で勝つ」という記事。

本多電子(愛知県豊橋市)は釣りの愛好家が購入するレジャー用船舶に搭載する魚群探知機で国内シェア7割。価格は1台数万~数十万円。レジャー用の船舶に的を絞ることで数百万円する大型漁船用の魚群探知機を手掛ける国内外の大企業と棲み分ける。水位が深い海域を好むキンメダイを見つける時は低い周波数、浅い所にいるシラスを見つける時は高い周波数といった具合に顧客の釣りたい魚に適した探知機を提供できるよう30機種をそろえる。

帝国データバンクによると、本多電子の業績は、2021年9月期売上57億円、当期純利益4.9億円、従業員数159名、1人当り純利益3百万円。

精電舎電子工業(東京都荒川区)は超音波の振動で発生する熱を利用してモノをつなげる超音波溶着機に強く、国内シェアは約4割。EV電池関連メーカーなどの新規顧客を開拓。過去5年間で車向けの機種の上は2倍になる。帝国データバンクによると、2020年9月期売上42億円、当期純利益2.9億円、従業員数130名、1人当り純利益2.2百万円。

大手が手掛けない、大手がやりたがらない、大手が気づいていない市場は意外とある。すべての生物は自分だけのニッチを持っているらしい。では企業も自社だけのニッチがあるはず。それに気づき、伸ばして、ナンバーワンを取る。あきらめてはもったいない。

ちょっと  
気になる出来事

読売新聞の広告チラシ。「新聞を読んでみませんか？」

「新聞大好き人間」池上彰さんは、こう語っています。

「ネットでニュースを見ているとじっくり考えることができない。新聞のページをめくる、読み解いていくことで様々な世の中が見えてくる」

「ネットの世界はフェイクニュースがあふれているが、新聞は徹底した取材に裏打ちされた正確な記事で信頼できるメディアである」

「新聞には一覧性があり、色々なニュースが目飛び込んでくる。未知の世界に触れ、それを深掘りすることで、自分の視野、興味関心が広がっていくことにつながる」

「新聞を読むことは単にニュースを知るだけでなく、色々なことに役立つということを知ってほしい」

新聞を読んで考える時間をつくる。いろいろなニュースが目飛び込んでくる。視野・関心が広がる。私は新聞を読み続けて40年以上。本当に役に立つ。一方小企業の社長に聞くと、多くの社長は新聞を読んでいない。「井の中」の人が多い。残念でならない。



一口メモ  
知識

## 時に随(したが)う

晦(ひのくれ)に嚮(むか)えば入りて宴息(えんそく)す。(沢雷随 たくらいずい)

日が落ちて暗くなった時は家に入って休息せよ、といている。

時に随(したが)うとは、自然の時に逆らわないこと。勢いが弱くなってきた時に強引に事を進めても阻まれるだけである。

しかし、時に随えば、時を味方にできる。そして、時を味方にできれば、いざれ時を用いることができるようになるのである。

このように沢雷随(たくらいずい)の卦(か) 齒時に随うことを教えている。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL.03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

